

川越市国民健康保険 第2期保健事業等実施計画(データヘルス計画)の結果について

資料12

1 計画全体の評価

項目		毎年度評価項目	平成28年度	令和元年度	備考
基本データ	平均寿命(歳)	男性	80.38	81.07	埼玉県衛生研究所「地域の現状と健康指標」より ※令和元年度の標準化死亡比については未公表
		女性	86.04	86.89	
	65歳健康寿命(歳)	男性	17.10	17.61	
		女性	19.88	20.17	
標準化死亡比(SMR) ※1	心疾患	男性	108.9	—	
		女性	118.6	—	
	脳血管疾患	男性	98.3	—	
		女性	110.7	—	
医療	総医療費(円)	○	29,111,838,052	26,962,980,292	事業年報より 1人あたり医療費=総医療費÷年度平均被保険者総数 H28:90,337人 R 1:78,274人
	1人あたり医療費(円)	○	322,258	344,469	
	新規人工透析患者数(人)		85	<u>76</u>	
介護	総給付費(円)		1,394,560,000	1,706,274,000	介護保険事業状況報告(R2年3月月報)厚生労働省HPより
	認定者数(人)		13,136	15,247	介護保険事業状況報告(R2年3月月報)厚生労働省HPより
健診	特定健診受診率(%)	○	40.7	41.6	法定報告より(R2.6.26現在) R1目標値 44.0%
	収縮期血圧の有所見率(%)	○	49.2	47.6	KDBより(R2.7.19現在) 計画策定時目標値 45%以下
	拡張期血圧の有所見率(%)	○	21.0	20.8	KDBより(R2.7.19現在) 計画策定時目標値 18%以下
	HbA1cの有所見率(%)	○	55.8	52.6	KDBより(R2.7.19現在) 計画策定時目標値 50%以下
	特定保健指導実施率(%)	○	14.0	9.1	法定報告より(R2.6.26現在) R1目標値 18.0%

※1 標準化死亡比(SMR):ある集団の死亡率を年齢構成比の異なる集団と比較するための指標。表中の数字は埼玉県の平均を100とした時の、本市の死亡率

※2 KDB:国保(K)データ(D)ベース(B)(システム)

※ 令和元年度の実績が、目標値を上回ったものは、下線を引いています。

※ 基本データおよび標準化死亡比は、その年度に埼玉県衛生研究所が公表したもの(原則公表年度の前年度データ)

## 2 個別事業

### ①生活習慣病重症化予防事業

令和元年度

事業		ストラクチャー(体制)	プロセス(実施過程)	アウトプット(実施量)	アウトカム(成果)	事業評価・要因分析
糖尿病性腎症重症化予防事業	評価指標	①事業の予算確保 ②県共同事業参加	①医療機関へ文書による参加呼びかけ ②実施医療機関向け説明会実施、事業結果のフィードバック	①参加医療機関数 ②保健指導参加者数	新規人工透析移行者 (H28 85人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R1年度参加者数 保健指導参加者:52名 継続支援参加者:11名</li> <li>・参加者を増やすため、R1年度の参加医療機関を募る際に、保健指導の実例を紹介。</li> <li>・重症化リスクのある方へ文書、電話による受診勧奨を実施。</li> </ul>
	目標	①予算確保 ②事業参加	①実施 ②実施	①40医療機関 ②50人	毎年度1%減少	
	実績	①予算確保 ②事業参加	①実施 ②実施	①33医療機関 ②52人	76人 H30年度より11.6%減少	
高血圧症予防事業	評価指標	①事業の予算確保 ②保健指導従事者の確保	①受診勧奨実施(通知・電話) ②保健指導の継続実施	保健指導実施人数	①事業参加者うち血圧の数値が改善した人 ②アンケートで生活習慣が改善した人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R2年3月に教室開催し、6月にフォローアップの予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。</li> <li>・特定健診結果より高血圧のリスクのある者615人に対し電話による保健指導を計画。R2年3～4月に本人267人(43.4%)に保健指導を実施。(不在280人)</li> </ul>
	目標	①予算確保 ②従事者確保	①実施 ②実施	40人	①60% ②60%	
	実績	①予算確保 ②従事者確保	①実施 ②実施	—	—	
個人の状況に合わせた啓発	評価指標	①啓発実施に係る予算確保 ②対象者の抽出	対象者に応じた受診勧奨案内作成	啓発実施件数(通知・電話計)	血圧の受診勧奨対象者率(特定健診) ①収縮期血圧 ②拡張期血圧 (H28 ①49.2% ②21.0% 保健指導判定値)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通知勧奨:20,000件</li> <li>・H28～30年度で受診回数が2回の者に特定健診の受診勧奨と兼ねて健診結果に基づく啓発の通知を送付。</li> <li>・受診回数が0、1、3回の者に年齢、性別ごとのアドバイスを掲載した受診勧奨を送付。</li> <li>・電話勧奨対象の40～50歳代の者に年齢、性別の受診勧奨</li> </ul>
	目標	①予算確保 ②実施	作成	800件	①45%以下 ②18%以下	
	実績	①予算確保 ②実施	作成	20,000件	①47.6% ②20.8% (7月16日現在)	
資料提供による啓発活動後押し	評価指標	健康づくり支援課との調整	①啓発用資料作成 ②啓発機会の定期的な把握	資料を活用した啓発の実施回数	血圧の受診勧奨対象者率(特定健診) ①収縮期血圧 ②拡張期血圧	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川越市の支会ごとの特定健康診査の受診率や有所見率、メタボ該当率との相関等の比較をした資料を作成し、啓発に活用した。</li> </ul>
	目標	実施	①作成 ②実施	10回	①45%以下 ②18%以下	
	実績	実施	①作成 ②実施	9回	①47.6% ②20.8% (7月16日現在)	

## ②啓発

事業		ストラクチャー(体制)	プロセス(実施過程)	アウトプット(実施量)	アウトカム(成果)	事業評価・要因分析
地区ごとの啓発	評価指標	①健康づくり支援課と定期的な打合せ実施 ②地区別啓発用資料作成	①地区の傾向の分析実施 ②傾向に応じた啓発の検討(R1年度以降)	地区の傾向に応じた啓発の実施回数	各地区の健診受診率(H28市全体の受診率40.7%)	・地区担当保健師と会議を持ち、地区の傾向や効果的な啓発を検討した。引き続き高階地区をモデル地区として資料を作成し、地域ケア会議等において啓発を行った(地区の受診率を伝え、受診勧奨につなぐ)。 ・他の地区についても地区担当保健師や地域包括支援センターなどの関係機関等に地区ごとの健診受診率等を伝え、啓発活動の推進を図った。
	目標	①実施 ②資料作成	①実施 ②検討	毎年度70回	毎年度2%上昇	
	実績	①実施 ②資料作成	①実施 ②検討	79回	2%上昇した地区:0 上昇した地区:6 下がった地区:5 7月16日現在の数値(KDBより) ※市全体としては前年と同率	
(R1新規)啓発媒体ごとの効果検証	評価指標	検証方法の決定(H30年度)	検証のための情報収集(アンケート等)(R1年度以降)	効果検証の実施	検証に基づく啓発改善(R1年度以降)	・健康まつりでのアンケート(525件) ・効果検証の結果に基づき、ポスター及び市ホームページを改善。
	目標	決定	情報収集実施	毎年度1回	毎年度1回	
	実績	決定	情報収集実施	1回	1回	
特定健診未受診者へタイプ別受診勧奨	評価指標	①勧奨に必要なチラシ等の予算確保 ②タイプの分類方法の決定	①健診未受診者のタイプ別分類 ②タイプに合わせた勧奨の実施	勧奨件数(電話・通知計)	特定健診受診率(その他タイプの分類により指標追加の場合あり)	電話勧奨:18,551件(架電数45,268件) ・R元年度新規健診対象者、・29年度受診し30年度は未受診の者、・H29、30とも未受診またはH30のみ受診で40~50歳代の者、重点啓発地区の者等に勧奨  通知勧奨:20,000件 ・H28~30年度で受診回数が2回の者に健診結果付き受診勧奨、・受診回数が0、1、3回の者に年齢、性別ごとの受診勧奨 ・電話勧奨対象の40~50歳代の者に年齢、性別ごとの受診勧奨
	目標	①予算確保 ②決定	①分類実施 ②勧奨実施	毎年度10,000件	毎年度2%上昇	
	実績	①予算確保 ②決定	①分類実施 ②勧奨実施	電話18,551件 通知20,000件	6月26日現在41.6%(目標44%)	
(R1新規)インセンティブ提供	評価指標	①提供方法決定(H30年度) ②予算確保	インセンティブ提供方法の整備・周知(R1年度以降)	提供件数(R1年度以降)	特定健診受診率(R1年度以降)	・特定健康診査受診者へのインセンティブとして、抽選でQUOカードを提供(1万円分を3名、千円分を60名)。
	目標	①決定 ②予算確保	実施	毎年63件	毎年度2%上昇	
	実績	①決定 ②予算確保	実施(作業手順整備)	63件	6月26日現在41.6%(目標44%)	
健診結果・診療情報提供事業の拡充	評価指標	予算確保	特定健診未受診者への周知	診療情報の提供数(H28 387件)	健診結果・診療情報による受診率の向上	・R1年度 人間ドック等361件(65件増)診療情報89件(34件増) ・未受診者への通知による受診勧奨の際に診療情報提供事業について啓発した。(20,000件送付) ・未受診者への電話勧奨時に啓発を実施。
	目標	予算確保	実施	毎年度15件増加	毎年度2%上昇	
	実績	予算確保	実施	99件増加(450件)	6月26日現在41.6%(目標44%)	
(R1新規)医療機関へ健診趣旨の再周知	評価指標	医療機関との調整(30年度)	受診率向上への協力依頼を含めた研修会を実施(R1年度以降)	研修会実施	説明会参加医療機関	・R1年5月に糖尿病性腎症重症化予防対策事業説明会において、特定健診受診率向上について説明及び情報提供。
	目標	実施	実施	毎年度1回	10機関	
	実績	実施	R1年度に実施	1回	16機関	

### ③環境整備

事業		ストラクチャー(体制)	プロセス(実施過程)	アウトプット(実施量)	アウトカム(成果)	事業評価・要因分析
(R1新規) 医療機関等との連携	評価指標	①医師会・医療機関との調整 ②医療機関への提供資料準備	①アンケートの実施 ②資料提供 (①②ともR1年度以降)	アンケート実施及び資料提供	集まった意見に対する改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健診実施医療機関に対してアンケートを実施した。訪問した医療機関からの意見も踏まえ、特定健康診査等の今後の改善方法を検討した。</li> <li>・平成30年度より医師会との会議に参加し、特定健康診査、特定保健指導の実施について説明し、意見交換を実施。</li> </ul>
	目標	①実施 ②資料準備	①実施 ②実施	毎年度1回	毎年度1回	
	実績	①実施 ②資料準備	①②とも前倒して実施	1回	1回	
庁内他部署との連携	評価指標	①関係課と定期的な会議を設ける ②他部との調整	①庁内会議参加 ②他部イベントでの特定健診PR実施 ③他部と連携した保健指導の実施(スポーツ教室の紹介等)	①庁内会議参加数 ②他部の教室・イベント等の紹介数	①特定健診実施体制 ②特定保健指導実施率	<ul style="list-style-type: none"> <li>①庁内会議参加数(ときも健康プロジェクト)</li> <li>・ワーキンググループ:3回</li> <li>・推進部会:2回 計5回</li> <li>②他部の教室イベント等の紹介数</li> <li>・イベント</li> <li>生涯スポーツフェスティバル</li> <li>介護予防普及啓発講演会等</li> <li>・その他の情報提供</li> <li>地域包括支援センター</li> <li>コバトン健康マイレージ</li> <li>熱中症予防</li> <li>・健康まつりにて『ときも健康プロジェクトコーナー』を置き、各課事業をPR</li> </ul>
	目標	①実施 ②実施	①参加 ②実施 ③実施	①5回 ②3件	①改善 ②毎年度2%上昇	
	実績	①実施 ②実施	①参加 ②実施 ③実施	①5回 ②イベント等の紹介5件	①関係課と受診率向上についての協議を実施 ②6月26日現在9.1%(目標18%)	
関係団体等との連携	評価指標	関係団体との協力体制構築	啓発内容等協力して実施する事業内容の調整	協力関係団体数	特定健診受診率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関との協力体制構築の取組み</li> <li>①民生委員、児童委員協議会連合会の理事会で健診の啓発依頼</li> <li>②協会けんぽとチラシ作成</li> <li>③JAで健診結果説明会実施・JAまつりで特定健診啓発</li> <li>④地域ケア会議へ出席し、健診受診をPR</li> <li>・令和元年度の新たな取り組み</li> <li>①資源循環推進課が実施する路上喫煙禁止地区内の巡回啓発事業と合同で特定健診の啓発。</li> <li>②理美容組合に特定健康診査のポスター掲示を依頼</li> </ul>
	目標	体制構築	実施	10団体	毎年度2%上昇	
	実績	体制構築	実施	13団体	6月26日現在41.6%(目標44%)	